

1. 額フレームの作製

1) 桧角材（9mm角）の裁断

Aグループ

1290mm長の桧角材をノコギリで裁断し 200mm長 4本、122mm長 4本
計 8本の角棒を作る (200、200、200、200、122、122、122、122)

Bグループ

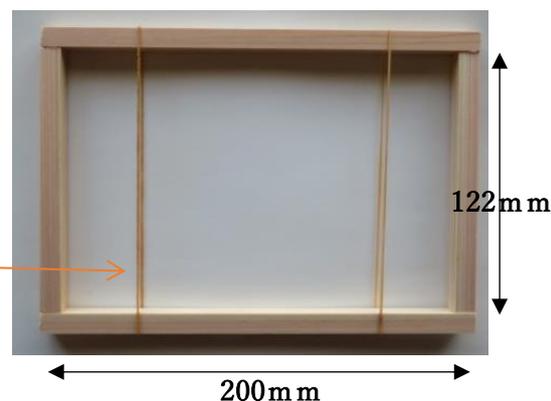
530mm長の桧角材 2本を裁断し 200mm長 4本、122mm長 2本の角棒を作る
(200、200、122 / 200、200、122)

250mm長の桧角材 1本を裁断し 122mm長 2本の角棒を作る。 計 8本の角棒
(122、122)

2) 額フレームの作製

200mm長さ角棒、122mm長さ角棒それぞれ 2本を右図のように木工ボンドで貼り合わせ長方形の額フレームを 2個作る

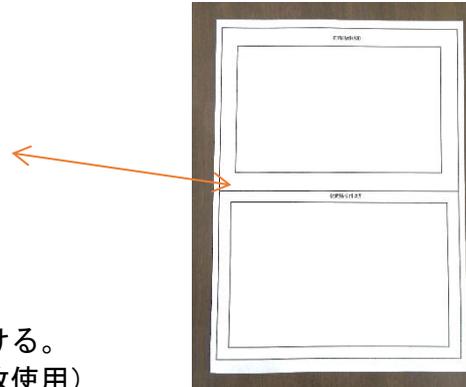
(ボンドで貼り合わせたフレームはボンドが乾くまで輪ゴム等でしばらく固定する)



2. 桧角材額フレームに貼る画用紙（化粧用）の作製

A 4大の白色画用紙 1枚に印刷した切り抜き線に沿ってカッターナイフで切り抜き、切り抜き内寸の大きさが違う化粧枠紙を 2枚作製する（前面貼付用と後面貼付用の 2枚）

なお、前面貼付用画用紙の内寸切り抜きは波型や鋸刃状に切り抜いて飾りとする、あるいはマスキングテープを貼っても面白い

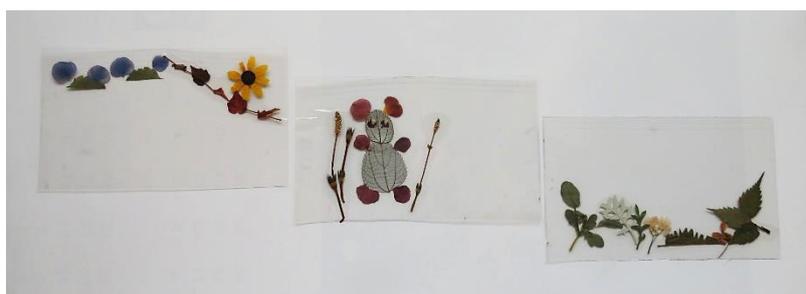


3. 押し花をB6大、3枚の手貼りラミネートフィルムに貼り付ける。

(3枚のラミフィルムは最前層用、中間層用、最後層用の3枚使用)

1) 3枚のラミフィルムへの押し花の配置の仕方

押し花の配置方法は**各自の構想に依り自由**だが、動物・魚・鳥などのメインテーマを中間層の中央付近に配置し、メインテーマの見え方、全体バランスを考慮して最前層の下部に装飾用押し花、そして最後層の上部に背景となるような押し花を飾るのがベーシックコース



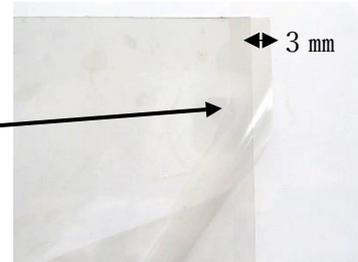
最後層

中間層

最前層

2) ラミフィルムに押し花を貼る方法

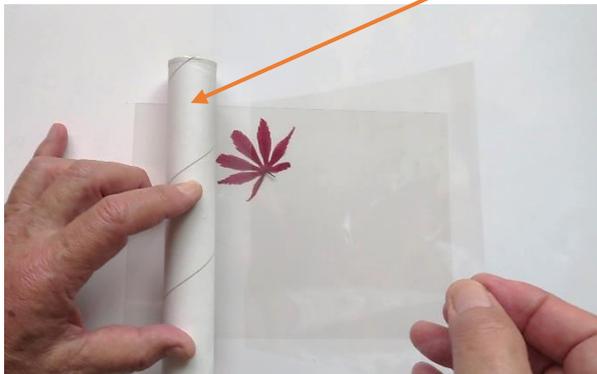
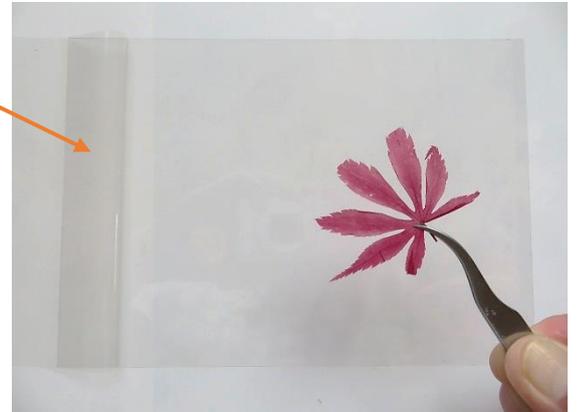
手貼りラミフィルムは厚さの厚いフィルムと薄いフィルムの2層から成り、剥離を容易にするため薄いフィルムの端部3mm程度がはみ出している。



薄いフィルムのはみ出た部分からゆっくりはがし、下図のように押し花を貼れるところまではがす

- ・ 薄いフィルムは全てはがさないで必ず一部を残すようにする
- ・ 3層とも薄いフィルム側を前部とする

押し花を厚いフィルムに軽く押さえて固定した後、薄いフィルムを丁寧に重ねる（紙管等を利用すると気泡を追い出し易い）

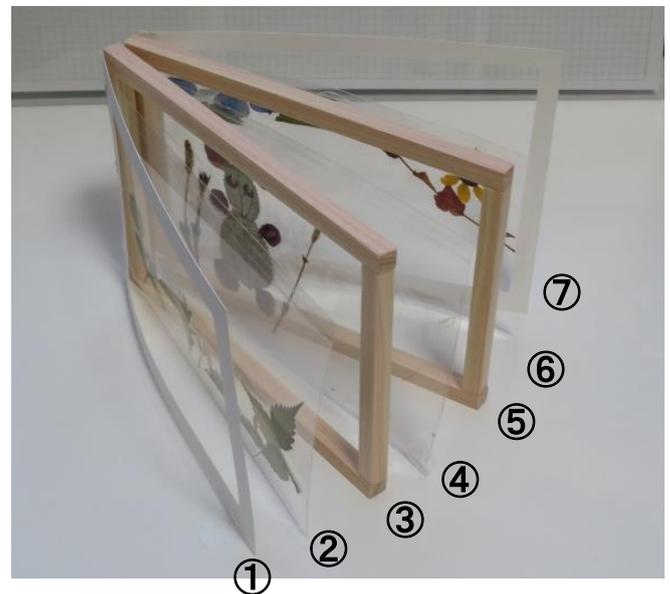


3) 額フレーム、ラミフィルム、画用紙を貼り合わせ、全体額を仕上げる

1) 各部材の配置は右の画像の順にボンドで貼り合わせる

- ① 前面貼付画用紙
- ② 最前層ラミフィルム
- ③ 額フレーム
- ④ 中間層ラミフィルム
- ⑤ 額フレーム
- ⑥ 最後層ラミフィルム
- ⑦ 後面貼付画用紙

2) ラミフィルムのはみだし部分などが発生すればカッターナイフで切り落とし調整して仕上げる



仕上がり例



他の仕上がり例



いろいろな動物やその他の型紙に押し花を貼った事例

